

通院交通費を助成しています

町では、難病患者及び重度心身障がい者等が、町内を除く道内の医療機関でその疾患の治療を受けるために要した通院交通費を助成しています。平成27年度後期の申請を受け付けますので、希望される方は早めの手続きをお願いします。

- 対象者
 - ・特定医療費（指定難病）受給者証、特定疾患医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の交付を受けている方
 - ・重度心身障がい者医療費受給認定者（後期高齢者医療加入者で課税世帯により受給者証の交付がない方を含む）
 - ・上記の方の介護者1名（通院に自家用車を利用しない場合のみ）
- 助成対象期間 申請月の1年前から（例）28年2月に申請した場合は、27年2月の通院分から助成可能
- 助成額 通院距離に応じて算出
- 必要書類 申請書、請求書、通院証明書、介護者を必要とする医師の証明書（該当の場合のみ）
※特定医療費（指定難病）受給者証、特定疾患医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の交付を受けている方は、受給者証のコピーも必要
- 申請期限 3月18日（金）まで
- 申請書類配布及び提出先 別海町役場町民課、各支所、各連絡事務所
問合せ／後期高齢者・医療給付担当（内線1242・1243）

第41回 別海町消費者大会

テーマ「守ろうよ、みんなを～消費者の安全・安心～」

- 日時 2月16日（火） 午前10時から午後1時まで
- 会場 中央公民館大集会室
- 内容
 - ・講演会
 - ・第10回牛乳パッケージイメージデザインコンクール
町内の小学生から応募された作品を展示し、来場者による審査・投票を行います。
 - ・フリーマーケット など

参加料
無料

第10回 牛乳パッケージ イメージデザイン コンクール作品展

標記コンクールの応募作品を展示します。ぜひご覧ください。

- 日時 2月29日（月）から3月15日（火）
- 場所 別海町役場1階ロビー

主催／別海町消費者協会
問合せ／別海町消費者協会事務局
（町民生活担当 内線1211）

し尿くみ取りのお知らせ

3月のくみ取り地区は別海、本別海、走古丹、中春別、豊原、美原、尾岱沼、床丹となります。3月にくみ取りが必要な方は2月20日までにお申込みください。

なお、すぐに汲んでほしいなどの急な申込みは、先に申込みをしている方に大変迷惑をかけることとなります。一杯にならなくてもくみ取りは行えますので早めの申込みをお願いします。



ご協力をおねがい
します

積雪等でくみ取り口付近がふさがっていると、くみ取り作業ができない場合があります。くみ取り口付近の除雪をお願いします。

なお、12月から3月までの冬期間は、凍結等の理由から家庭排水のくみ取りは行いません。
問合せ／町民生活担当（内線1212・1213）

より良い福祉の環境づくりを目指して

本町では、第6期介護保険事業計画に基づき、介護サービスの充実を図るとともに、介護サービスを担う人材の育成に取り組んでいますが、町内事業所の介護職員が不足している状態です。

介護支援課では、介護職員に必要な資格等の習得支援や町内事業所に関する情報を提供していますので、関心のある方は下記までお問合せください。

問合せ／高齢者福祉担当（内線1317）



いきいき元気あっぷ 健康体操教室日程

9:45~受付 10:00~11:30運動教室

	中央公民館	東公民館	西春別 ふれあい センター
2月	4日(木)	9日(火)	23日(火)
3月	3日(木)	8日(火)	15日(火)

※会場の都合や天候により予定を変更することがあります。

地域包括支援センターから

高齢となっても健康寿命を延ばし地域でいきいきとした生活が送れることを目標として、月1回、運動指導や健康維持に関する教室を開いています。

参加
対象者

- ①65歳以上の方。体力、気力の低下が気になる方。
 - ②誰かと一緒に運動したり、健康寿命を延ばす活動をしてみたい方(64歳以下でも可)。
 - ③介護認定を受けていない方。
- ※健康チェックは行いませんので、体調に不安のある方は事前に主治医への確認をお願いします。

参加費
無料

地域包括支援センターは、高齢者の介護や生活の困りごとの総合相談窓口です

■申込み・問合せ/TEL79-5500 (直通) 別海町役場1階福祉部内

平成27年度

臨時福祉給付金について

平成26年4月の消費税率の引上げに伴い、所得の低い方への影響緩和を目的として、臨時福祉給付金を支給しています。

手続きがお済みでない方は、早めの申請をお願いします。

■支給対象者

- 平成27年1月1日現在、別海町に住所を有している方。
- 平成27年度分住民税(均等割)を課税されていない方。
※課税されている方に扶養されている場合又は生活保護受給者は対象外です。
- 年齢に制限はありません。
※子育て世帯臨時特例給付金(対象児童1人につき3千円)の支給を受けた方についても、上記の条件を満たす場合は臨時福祉給付金の対象となります。

■給付額 支給対象者1人につき6,000円。

■受付場所 別海町役場福祉課、各支所、各連絡事務所

■必要書類等 印鑑、申請する方全員の身分を証明できるもの(健康保険証や運転免許証等)、振込先の口座番号のわかる通帳等

■申請期限 3月1日(火)まで

問合せ/社会・障がい福祉担当(内線1310)

福祉課から

荒天時の福祉牛乳 配布について

近年、異常気象により吹雪等の悪天候が増加しています。荒天時



における福祉牛乳の配布は、牛乳の運搬ができないこと、牛乳を受け取りに来られる方の安全を確保することを理由に中止する場合があります。

荒天時における配布の状況等については、事前に下記担当へご確認ください。

問合せ/社会・障がい福祉担当
(内線1312)

農政課から

第5回 水環境と畜産環境を考える研修会・意見交換会の開催

本町では、基幹産業である農業と漁業が将来にわたり共存共栄していくことを目的に、平成26年4月「別海町畜産環境に関する条例」を制定しました。

今後も望ましい水と畜産環境の取り組みを進めるため、研修会と意見交換会を開催します。基幹産業の現状や課題について認識を深める機会として、ぜひご来場ください。

■日時 2月16日(火) 午後1時から午後3時30分

■場所 別海町役場101・102会議室

■内容

講演「TPPIについて」 講師 酪農学園大学 相原晴伴 教授
「ロボット導入の課題」講師 酪農学園大学 森田 茂 教授
意見交換会「酪農の将来について」

座長 酪農学園大学 吉野宣彦 教授

■参加対象 一般町民、農林漁業者、農林漁業関連団体など

■参加費用 無料

問合せ/農業政策担当(内線1412)

沿道家屋からの 落氷雪事故に ご注意ください

冬期間は、沿道家屋の軒下を通る人が、屋根からの落氷雪で死傷する事故が多発します。積雪時期の通行を円滑にし、事故を無くすため、次のことに注意してください。

- 落氷雪事故の発生が懸念されるような沿道建物等については、雪止めを設置してください。
- 既に雪止めが設置されている場合も必ず点検し、破損等が発見された際は早急に修繕してください。
- 落氷雪事故は、気温がマイナス3℃からプラス3℃程度のときに発生しやすいという特徴があります。歩行者や遊んでいる子どもに十分注意して早めに除雪してください。
- 落氷雪があった場合は、直ちに事故がないか確認して、歩行者の通行の支障にならないように排除してください。
- 交通事故及び交通障害防止のため、屋根からの落氷雪や敷地内の積雪を道路に出さないようにしてください。
- 軒下を通行するときは、屋根からの落氷雪に十分注意するようにしてください。
- 軒下や道路では、絶対に子どもを遊ばせないようにしてください。
- 建物の壁、窓枠、突出看板等からの落氷雪は、少量でも危険です。付着した氷雪は、歩行者等の安全を考慮し、早めに除去してください。

問合せ/管理・維持担当 (内線3111)

郷土資料館だより

ふるさと講座・自然系

郷土資料館から

オジロワシ・オオワシ観察会



オジロワシとオオワシを観察しながら走古丹、風蓮湖の冬の自然を満喫しましょう。

- 日 時 2月20日(土) 午前10時から午後0時30分
- 場 所 風蓮湖、走古丹方面
- 集 合 午前10時までに郷土資料館へ集合
観察場所への移動は、当館で送迎しますが、自家用車での移動もできます。
- 定 員 15名
- 申込み 2月19日(金)までに、電話、FAX又はメールにて氏名及び電話番号をご連絡ください。
- 持物等 双眼鏡、図鑑(当館で若干貸出しします。)長靴を必ず着用してください。

2月の休館日 6～8日、11日、20～22日

問合せ/郷土資料館

3月の休館日 5日、6日、14日、19～21日、28日

TEL・FAX 75-0802 Eメール kyoudo@betsukai.jp

本の中の別海町(村)を 集めています

図書館は、本の貸出しだけでなく図書や資料等を収集、保存し後世へ引き継ぐ役割も担っています。

当館でも、地域資料として、地域の記念誌や別海町が掲載されている印刷物を収集しています。本や雑誌等に別海町(村)に関する記述を見つけた際は、図書館まで情報提供をお願いします。



ちぎり絵 香彩会

- 期 間 1月29日(金)から2月24日(水)
- 場 所 図書館エントランスホール
ちぎり絵サークル香彩会8名の作品30点を展示します。

小さい子の お話の時間

図書館職員が赤ちゃん絵本の読み聞かせや手遊びなどをします。

- 日 時 5日、12日、19日、26日(金) 午前11時から11時15分
- 場 所 図書館「お話のコーナー」
- 対 象 0歳から3歳程度

2月の休館日 1日、8日、11日、15日、22日、25日(月末休館日)、29日

休館中の返却は玄関横の返却ポストをご利用ください。

3月の休館日 7日、14日、20日、21日、28日、31日(月末休館日)

問合せ/図書館 TEL 75-2266 FAX 75-0506 Eメール tosyo@betsukai.jp

育てよう別海町の『学びの木』

地域の行事に積極的に参加し、様々な人と交流を深める

もの知りで頼もしいおじいさん お料理上手の優しいおばあさんがイベントで大活躍

生まれたての赤ちゃんから高齢者まで幅広い方々にご利用いただいている公民館では、互いに心を寄せ合う、素敵な異世代交流がたくさん見られます。

家族連れで賑わう『べつかい子どもまつり』では、サンキューの会さんの美味しいたこ焼きと、豊生クラブさんの手作り団子汁が大人気。昔なつかしのお煎餅焼きコーナーでも、香ばしいお煎餅をどんどん焼いてくれる煎餅焼きの達人として大活躍。

少年事業『アドベンチャースクール』では、小学生の団員が西別街道を歩こう会の方々と巣箱作りに取り組みました。高い木に梯子をかけて巣箱を設置する頼もしいおじいさんの姿に拍手喝采。豊生クラブさんと団員とで踊ったフォークダンスでは、息を切らしながらも「子どもと遊ぶの楽しいわぁ」



と、笑顔いっぱい大きな輪が出来ました。

親子ふれあい事業『おやこフェスタ』では、豊生クラブさんとすすくスタッフさんの協力により、にゅうめん、おにぎり、ホットケーキが振る舞われました。席に座っていると、優しいおばあさん達が笑顔で届けてくれ、食べた後も食器を下げるだけ。



いつも忙しい

お母さんは、「食べられるだけでも幸せなのに、至れり尽くせりで嬉しかった」と、感謝の笑顔でお返しです。昔遊びコーナーでも、お手玉や折り紙などでいつまでも子ども達と遊んでくれました。

その他、福祉牛乳配布日にも、赤ちゃんに声をかけたり、抱っこをお手伝いしたり、自然で温かな交流が日常的に見られます。

(生涯教育研究所 所員 森野志保)



高齢者が最も望んでいることは「何か社会の役立ちたい」ということです。「社会から大事にされる高齢者」のイメージから、高齢者の持っている優れた知識や経験を積極的に活かし、「社会にとって必要な高齢者」となっていくことは、これからの社会にも望まれることです。

また、子ども達の健やかな成長は、家庭や学校での教育はもちろんのこと、多様な人々との関わり、様々な経験を重ねていく中で育まれるものです。地域社会とつながることで、子ども達は心豊かにたくましく成長していきます。

異なる価値観や文化をもった世代の交流は、それぞれに新鮮な刺激をもたらし、人と人だけでなく、時代と時代をつなぎ、地域のつながりに深まりをもたらします。

早寝早起き朝ごはんテレビを止めて外遊び